

文京探索委員会

2018.4.14 江戸川橋～目白台



第53回
活動記©



③ 文京区立肥後細川庭園



芭蕉庵

松尾芭蕉が、1677年から3年間この地に住んでいたそうです。1750年に芭蕉の供養のために、芭蕉の真筆の短冊を埋めて作られた「さみだれ塚」が建立され今も残っています。

② 椿山荘



目白不動跡

目白台の地名の由来となった。目白不動尊が、以前文京区目白坂にありました。第二次世界大戦で被害をうけ、現在は豊島区に移転しました。

④ 今宮神社

音羽地域活動センター跡地に、平成31年に保育園と育成室が出来る予定です。えびさわは、これからも待機児対策にしっかり取り組んでいきます。

① 江戸川公園 神田上水取水口「大洗堰」

弦巻川

豊島区と文京区との間を流れていた川で、現在は暗渠です。護国寺から江戸川橋の首都高速の下あたりを流れていたようです。

START

GOAL

江戸川橋駅



文京探索委員会

2018.4.14 江戸川橋～茗荷谷 第53回 活動記◎



文化と歴史に恵まれた文京区。気になるところに寄り道しながら、見て、食べて、勉強して…散歩をしながら文京区を丸ごと足で楽しむ活動です。文京区が好きの人、文京区に住んでいる人、老若男女、みんなてわいわいしませんか。

文京探索委員会 <http://ebisawakeiko.com/tansaku/>



集合写真：江戸川公園にて

①江戸川公園 神田上水取水口「大洗堰」

文京区関口2-1

神田上水は、井の頭池を水源とし、明治34年に閉鎖されるまで江戸・東京に飲用水を供給。大滝橋近くに大洗堰が設けられ、ここで神田上水の水位を上げ、上水路を通して小石川の水戸藩上屋敷に水を入れ、余った水は神田川に流れていた。



②ホテル椿山荘東京

文京区関口2-10-8 ☎03-3943-1111

庭園には、古くから東京の名水に数えられた湧水が自噴している「古香井」、戦国時代の茶人織田有楽（織田信長の弟）由縁の層塔「十三の塔」、江戸時代の画家伊藤若冲の五百羅漢のうち20体で京都伏見の石峰寺におかれていた「羅漢石」など多くの見所がある。



③文京区立肥後細川庭園

文京区目白台1-1-22 ☎03-3941-2010

元は新江戸川公園と呼ばれていたが、一昨年区民公募で「肥後細川庭園」と改名した。この公園周辺は、江戸中期以降は旗本の邸地になり、江戸末期には清水家や一橋家の下屋敷となった。そして幕末には熊本54万石の細川侯の下屋敷に、明治15年には細川家の本邸となった。



④今宮神社・今宮五社

文京区羽羽1-4-4 ☎03-3941-4266

元禄十年桂昌院殿発願により、護国寺建立の時、同所に鎮座し明治六年現在地に遷座した。五社とは、天照大神宮・八幡大神・春日大明神・今宮大明神・三部大権現である。明治十二年には虎烈刺病伝染除の祭典が執行され、病気平癒の御利益がある。



文京探索委員会は文京区のいいところを多くの方に知ってもらいたいと始めた活動です。

活動はだいたい2か月に1回です。

みなさん一緒に散歩を楽しみましょう★

文京探索委員会 代表 えびさわけいこ（文京区議会議員）

次回の活動は
9月30日(日) 午前11時
茗荷谷駅集合

エビちゃん応援隊ブログ
<http://ameblo.jp/ebi-aruku/>